

■初のイベント『新米でおむすび』

准組合員に昨年度加入された方へJAの理念などを知っていただくため、地元のコシヒカリを使った新米でおむすびを作るイベントを9月22日に島田支店で行いました。参加した子ども達は、家族に教わりながら2種類の混ぜ込みおむすびなどを作り全員で食べました。おむすび作りの前には、田子浦ライスセンターで収穫された米が、もみから玄米になる様子を見学したり、コイン精米機を実際を利用して上白米にしたり、産直市の見学なども行い、JAや農業に親しみました。



JAや組織の姿を伝えよう

**JAの取り組みをご紹介します!!**

〈JA富士市ホームページはこちらから〉  
<http://fuji.ja-shizuoka.or.jp/>



■小学校に給茶機を5台寄贈

JA富士市は9月5日、給茶機5台を市内小学校に設置するため、目録(126万円相当)を市長に寄贈しました。お茶を飲む習慣を身に付け、健康増進や茶業振興を図ることを目的に平成28年度から毎年行っています。勝亦光明組合長は「富士市はお茶の産地ですが、急須を持っていない家庭が増えているので、子どもの頃からお茶を飲み親しんでもらえばお茶生産者の後継者づくりにもなるのでは」と未来を担う子ども達に期待を寄せました。富士第二小学校、丘小学校に各2台、岩松小学校に1台を設置しました。



■まちのJAを探検しよう

原田小学校2年生は、9月25日に地域の身近な会社を学ぶために原田支店を訪れました。野村佳正支店長が、融資や共済、貯金の窓口で仕事内容を説明。JAには、銀行には無い購買の窓口があり、肥料や農薬、米などの販売をしていることを話しました。



■ストレスとの上手な付き合い方講座

富士支店は9月19日に、部農会員を対象とした無料のこころの健康講座を開きました。フィランセで保健士をしている講師の佐野聖子さんは、「ストレスとは、お金、仕事、家族、外部から刺激を受けた時に生じる緊張状態、暑さ、うるさい、臭い、風邪などのほか、嬉しい出来事でも感じるもの。脳も体の一部で、体の健康づくりをすればメンタルも安定します。『食・食べる・動く・寝る』がストレス発散の基本なので、スッキリする解消法を見つけてみましょう」と話しました。

